

市政を問う(代表・個人質問)

令和5年3月13日～15日

代表質問については、総括方式で答弁者は市長になります。

個人質問の順番は、発言通告書が提出された順番です。〈 〉内は、答弁者です。

代表質問

会派・氏名	掲載頁	会派・氏名	掲載頁
新政会 質問者 田中 尚仁	11	日本共産党議員団 質問者 小牧 一美	15
翔政会 質問者 小西 孝司	13	公明党 質問者 山崎 直規	16
令和同志会 質問者 渡邊 邦男	14		

個人質問

質問 順番	氏 名	質 問 事 項	掲載頁
1	西村 弘樹 【分割方式】	1 JR守山駅周辺のまちづくりのあり方について〈都市経済部理事〉 2 災害発生時における帰宅困難者への対応について〈環境生活部理事〉	17
2	今江 恒夫 【分割方式】	1 市政への市民参画と協働のまちづくりの現状と課題〈環境生活部理事〉 2 市民参加型合意形成プラットフォームの活用について〈総合政策部長〉	17
3	高田 正司 【総括方式】	1 带状疱疹予防接種について〈市長〉	18
4	川本 航平 【一問一答方式】	1 ターゲットを絞って市民活動の「入口づくり」を行う施策について (1)市民協働やまちづくりに新たに参加する人を増やすことの重要性〈市長〉 (2)市民懇談会の過去参加者へのアプローチを再検討できないか〈市長〉 2 不登校児童・生徒の「はじめの一步」を後押しする施策について〈教育長〉	18
5	森 貴尉 【一問一答方式】	1 第2期地方創生総合戦略に基づく自転車を軸とした施策について〈市長〉 2 本市の住宅・店舗・施設改修助成制度の在り方と今後の住宅リフォーム制度の取り組みについて (1)令和5年度の住宅リフォーム制度について〈市長〉 (2)住宅・店舗・施設改修制度の交付申請手続きについて〈都市経済部理事〉	19
6	國枝 敏孝 【一問一答方式】	1 施政方針の中の「日本のモデルになる守山」について〈市長〉 2 重点施策方針の「市民が主役の守山」について〈市長〉	19
7	藤原 浩美 【分割方式】	1 新型コロナの感染症区分5類への見直しについて〈健康福祉部理事〉 2 物価高騰に対する経済支援について〈市長〉 3 守山市の保育・幼児教育の充実について〈こども家庭部長〉	20
8	石田 清造 【一問一答方式】	地域交通の充実策について 1 路線バスの課題について〈都市経済部理事〉 2 もーりーカーの課題について〈都市経済部理事〉	20
9	福井 寿美子 【分割方式】	1 部局横断の連携について〈市長〉 2 公民連携ワンストップ対話窓口の開設について〈市長〉	21
10	酒井 洋輔 【一問一答方式】	1 守山市民がスポーツに親しめる環境整備について (1)民間企業が有する施設の有効的な活用について〈市長〉 (2)部活動の地域移行を控え、地域・学校・企業との一体的な取り組みについて〈市長〉	21



新政会 代表質問



質問者 田中 尚仁

教育委員会関連施策について

問 今後の不登校対策を様々な機関との連携を含め、どのように行っていくのか方針を伺う。

答 令和5年度から実施する「地域学校協働活動事業」により、児童生徒が地域の方々と気軽に関われる環境をつくり、教職員だけでなく、守山の良さである地域力を活かし、地域の方々と子どもたちを支え、市全体として支援していきます。

問 老朽化した学校施設へは、今後どのように修繕を進めるのか伺う。

答 大規模改造工事を実施していない学校については、長寿命化改修工事を待たずに、必要な部分的改修を進めていきます。

問 教育現場への支援についての考えを伺う。

答 別室登校を望む子どもの増加を受け「やすらぎ支援相談員」を大幅に増員し、子どもが安心できる居場所づくりに努めます。また、学校のICT環境を整え、教職員の負担軽減を図ります。教職員自身も心にゆとりをもって働けることが大切であると考えています。

問 返還免除型の育英奨学金の財源はふるさと納税であるが、育英奨学事業についての考えを伺う。

答 ふるさと納税の寄付金確保に努め、状況によっては、一般会計からの繰り入れを含め安定的な運営をしていきます。

地域防災について

問 防災体制の強化として、今まで以上に消防団や地域の自主防災組織の強化などが重要になるが、どのように取り組むのか伺う。

答 消防団については、処遇改善やPRの強化などによる消防団員の確保に取り組み、実践的な訓練や資機材の充実などにより、災害対応力の向上を図ります。また、自主防災組織については、防災設備整備や訓練の実施、地区防災計画の策定への支援を行います。

環境学習について

問 守山のシンボルであるホタルの保全活動やホタルを題材とした環境学習への見解を伺う。

答 「守山市ほたる条例」により、ホタルの生息環境を保全し、次世代へ継承していくことが責務であると認識しています。また、多様なテーマの環境学習を様々な知見を持った方々と連携する中、実施していきます。

自治体DXについて

問 新しい庁舎になるタイミングで、ICTを先進的に進めていくことを期待しているが、体制を含め、人材の確保・育成に関してどのように考えているか。また、市民に対してのサポート体制について伺う。

答 現在、ICTを扱う事務を通じ職員の意識向上やスキルアップに取り組んでいます。人材育成には「業務改善等にICTを積極的に活用」できる職場風土の醸成が必要であると考えています。また、市民の方へは行政サービスのデジタル化と並

新政会(続き)

行して、不慣れな方に寄り添ったサポートを行ってまいりました。今後もスマホ体験講座を開催し、支援してまいります。

中心市街地活性化と駅東口・西口の在り方について

問 駅周辺地域の活性化のために、市としてはどのような形で議論を進めていくのか伺う。

答 これまでの取り組みを引き継ぐ中、活性化を進めています。西口ロータリーについては渋滞対策を中心に議論を進め、東口については住民や専門家、交通事業者などの意見を幅広く取り入れ、基本計画を策定してまいります。

自治会・地域活動への支援について

問 自治会においては、近年役員のなり手不足が深刻であり、一層の自治会への支援が必要だと考えるが見解を伺う。

答 自治会役員の負担や事務軽減については、申請等手続きのデジタル化や、書類の簡略化についても検討を進めています。併せて、地区会館においては、地域に寄り添い丁寧な対応に努めてまいります。

市職員の働き方・職場環境について

問 職員がやりがいを感じるためにも若手職員、中堅職員が意見を出しやすい仕組みを作ることが必要だと考えるが見解を伺う。また、技術職の職員の不足を補うためにも業務のアウトソーシングが必要だと考えるが見解を伺う。

答 新たな課題について考え、取り組みたいという若手・中堅職員の意欲を適正に評価し、提案を積極的に取り入れることで、新たな意見が生まれるという流れをつくりたい。

技術職員の確保については、募集枠の拡大や採用試験において新たな手法を取り入れるなど工夫しながら確保に努めます。また、業務のアウトソーシングについては、より効率的に業務を整理する中で、より積極的に委託を行い職員の負担軽減を図ります。

健全財政への取り組みについて

問 健全な財政を保ち、恒久的に市民サービスを提供するために、事業のスクラップ&ビルドを行うのはもちろん市全体でDXを進め効率化を図る必要がある。また、将来を見据えて様々な分野での行政事務・サービスの広域化も検討していく必要があると考えるが見解を伺う。

答 物件費など経常経費が大きく増加していることについては、しっかり注視しながら、今後は「選択と集中」「スクラップ&ビルド」による事業・施策のさらなる重点化を図ります。歳出面では、おうみクラウド協議会など他市との広域連携によるコスト削減に加え、新庁舎での「窓口のスマート化」、総合型GIS導入やICTを活用した働き方改革など、DXを一層推進し、業務の効率化を図る一方で、企業誘致や収納率の向上などによる税収確保や市有財産の有効活用など、歳入の確保にも積極的に取り組みます。

北部地域の振興について

問 地球市民の森は、「みらいもりやま21」がPark-PFI制度を活用し、大型遊具の設置など多様な事業が展開されるようである。県事業ではあるが、本市にある施設であり、連携が重要と考えるが、市の関わりについて見解を伺う。

答 北部地域は、様々な用途に対応できる施設が整っており、今後、個々の施設の連携、地域全体を如何に面的にまとめるか、地域全体施設間連携を如何に進めるのかを念頭に置き、県とも調整を図る中、民間事業者とより一層の連携を図ってまいります。

その他の質問

- 地球規模の課題に対する考え方
- 県・国との連携について
- スポーツを活かした活性化について
- 市内企業への支援、起業創業支援について
- 歴史・文化財について



翔政会 代表質問

質問者 小西 孝司

組織づくりとミッション達成について

問 市長は「政策方針」という目標を職員に具体的に示す必要があり、ミッション達成に向けた組織づくりや意思の伝達に対する市長の考えを伺う。

答 「職員が前向きに笑顔で働き、果敢に挑戦していくことができる組織」づくりを行ってまいります。効率的かつ効果的に施策に取り組み、市役所の縦割りを排除し、横断的な組織づくりに努めます。

統率・育成について

問 市長はリーダーシップを発揮し、職員とのコミュニケーションをどのように図ろうとされるのか。

答 職員の思いや提案を受けとめ議論を進めていきます。そのためには、幹部職員と議論を重ね、考えや思いを共有します。その上で、若手職員が積極的に議論に参画しやすい環境をつくります。

成果の評価測定について

問 職員は貴重な財産で資産でもある。市長はどのように職員への指導や人材育成をされるのか。

答 業務に対する評価測定は、職員自身が仕事に対するやりがいと自身の成長を実感するために重要であると考えます。職員には「徹底現場主義」「変えることを恐れない」「積極的な連携・コラボを図る」姿勢を求めています。そのために私自身がこれらを実践し、職員に示してまいります。

施政方針の「時代認識」について

問 コロナの影響により、これまでの市民生活が一変した。その上、ロシアによるウクライナ侵攻が拍車をかけ円高が進み、化石燃料の供給不足や物価高騰等、地域経済に大きな影響を与えた。こうした状況下で市民生活をどのように守るのか。

答 その対策として、国の地方創生臨時交付金を活用する中、ひとり親等の子育て世帯に対する生活支援特別給付金や住民税非課税世帯等に対する国の価格高騰緊急支援給付金への上乗せ支援、中小企業等省エネ・再エネ設備等導入促進補助制度の創設等の物価



高騰対策を実施してきました。今般、国においては予備費を活用し、追加の物価高騰対策を検討されていると聞き及んでいます。その状況を注視し、適宜適切に必要な対策を講じます。

「子育てするなら守山」について

問 子育て世代の要望対応など、守山で「子どもを産み・育てる」ための見解を伺う。

答 希望する方が安心して子どもを産み育てられる環境づくりをしっかりと進める必要があります。また、子育て世代からの要望についても、期待にお応えできるよう、優先順位をつける中、検討を進めてまいります。

問 不登校対策について、大人目線だけでなく、子ども目線に立った会話や思考等ができればと考えるが如何か。

答 スクールカウンセラーの配置に加えて、スクールソーシャルワーカー、やすらぎ支援相談員等の配置を拡充します。さらに、令和5年度からの「地域学校協働活動事業」により、学校と地域の新たな連携の中で、児童生徒が地域の方々と気軽に関われる環境をつくるのが重要であると考えます。

その他の質問

- SDGsやカーボンニュートラルについて
- 新しい技術やサービスの積極的な採用について
- 少子化・高齢化の進展や市民の家族観等の変化を見据えたまちづくりについて
- 「住むなら守山」、「働くなら守山」、「市民が主役の守山」について



令和同志会 代表質問

質問者 渡邊 邦男

「子育てするなら守山」について

問 子どもの医療費助成（現在、通院費助成は中学3年生まで）について、今後どのように進めていくのか。

答 子育て世代からの強い要望もあることから、今後、本市の財政状況も踏まえつつ、早急に進めたいと考えています。

問 本市で産み育てる環境づくりの一つとして、分娩のできる産婦人科医の誘致に積極的に取組まれては如何か。

答 産婦人科医院の開設は本市の重要課題として位置付ける中、補助制度創設や国・県への要望をしています。今後もあらゆる機会を捉えて、産婦人科医の確保に向けて取組みます。

「住むなら守山」について

問 琵琶湖大橋取付道路（レインボーロード）等、慢性化している渋滞の緩和に向けどのような検討をされているのか。

答 県道路公社では琵琶湖大橋周辺の渋滞解消を目的に、大津側、守山側双方で4車線化等を進めていただいています。早期の渋滞緩和に向け、国・県に対し、早期の事業完成を引き続き要望していきます。

問 国土強靱化予算を活用し、本市の防災・減災につながる施策の推進や災害時の情報発信手段の検討について伺う。

答 公共施設については、国土強靱化予算等を活用し、整備促進と適切な維持管理に努め、市民の安全安心を確保します。また、災害時の情報発信手段については、新庁舎の防災拠点としての運用やDXなどを踏まえ、検討します。

「働くなら守山」について

問 良質な保育環境を整えるための保育士の確保と管理運営、研修について伺う。

答 これまでから公立・民間ともに様々な施策を講じ、保育士の確保と定着化に取り組んでいます。併せて、



保育士の負担軽減を図る働き方改革の取組みも進めていきます。また、研修については、保育を取り巻く環境の変化にも柔軟かつ適切に対応するため、各種研修会の開催等、保育士の資質向上に取組みます。

問 中心市街地活性化とJR守山駅東口・西口の今後のあり方について伺う。

答 現在、守山駅周辺エリアの活性化や賑わいを生み出していくという共通目的のもと、守山駅西口・東口において様々な事業が動き出しています。景観や環境に十分配慮し、一体的な視点を持つ中で官民連携を図り進めていきます。

横江地区および笠原地区への企業誘致について

問 企業誘致のプロジェクトに対する組織体制、官民の連携について伺う。

答 今後進んでいく企業誘致などの大規模なプロジェクトについては、今まで以上にしっかりと体制を整え、民間企業の求めるスピード感にも対応していきます。また、官民の連携については、民間企業がお持ちの実務経験やノウハウ等をご教示いただき、企業誘致を円滑に進めるため、積極的に民間事業者と連携を行っていきます。

その他の質問

- 「道の駅の構想」について
- 「市民が主役の守山」について
- 「空き家対策」について





日本共産党議員団 代表質問

質問者 小牧 一美

市政への向き合い方について

問 前市長の元でトップダウンで進めてきた事業の妥当性を見直し、精査するとともに、その業務量に応じた市職員の適正配置が求められる。

答 「徹底現場主義」「変えることを恐れない」「積極的な連携・コラボ」の姿勢で臨みます。限られた人と財源の中で、市にとって何が一番重要なのか、何を優先的にやっていくのか、しっかり見極めます。

問 新たな駅東口再開発は事業そのものを見直し、森中市長の元で、十分な議論をふまえたうえで実施すべき。

答 村田製作所の新施設が整備される時期に合わせて機を逸することなく検討を進めることが必要であり、次年度に基本計画をまとめます。

問 令和7年新装開店予定の平和堂守山店建替えについて、「公共スペース」の併用など、どのような協議検討を行っているのか。

答 渋滞改善などの都市機能の充実や、賑わい創出を行っていただけるよう要望するなど協議を重ねています。

問 「自転車のための道の駅」として始まった「道の駅」構想は、計画そのものを断念すべき。

答 昨年8月より「自転車の道の駅」ではなく「環境保全と活性化を両輪とした道の駅」を目指し、構想案を取りまとめています。

人を育てる環境整備について

問 人口増加と教育施設の不足という課題について、長期的視点から根本的な解決策を議論する必要がある。

答 必要な教室数は確保できています。民間住宅開発を注視していきます。

問 子どもと一緒に遊び、交流し、相談できる「子育て支援センター」を、市内全域に設置すべき。

答 親子が集まったり、子育て不安を相談したりできる環境は重要であり、今後の検討課題とします。



問 すぐに中学校卒業までの子どもの医療費完全無料化に踏み出すべき。

答 早急に検討を進めていきます。

住み続けたいまちについて

問 公共交通の充実を求める声に、積極的に応えるべき。年齢制限、登録、予約の手続き不要の公共交通の整備拡充が求められる。バス事業者と協働し、定期循環型コミュニティバスの導入に踏み切るべき。

答 既存バス路線の維持・充実、もーりーカーの利用促進と運用改善を不断に行います。

問 災害時の情報提供手段がスマホや広報車だけでは、あまりにも脆弱。防災無線整備やコミュニティFMの取組について検討を進めるべき。

答 防災無線は相当な経費が必要です。コミュニティFMは初期投資・人材確保やコストの課題があります。

問 インフルエンザ、带状疱疹など、ワクチン接種費用助成を積極的に創設することを求める。

答 様々な要素を勘案しながら検討します。

国政の課題について

問 国政課題(大軍拡・核兵器禁止条約・脱炭素・原発・消費税・ジェンダー)について市長の見解を問う。

答 戦後78年を迎えるにあたり、戦争の悲惨さや、広島・長崎の被爆体験は決して風化させてはならないことであり、核兵器のない世界こそがあるべき姿であるという認識の下、恒久平和の実現に尽力しなければならないと、強く実感しております。



公明党 代表質問

質問者 山崎 直規

子育て伴走型支援について

問 システム連携による子育てに関する情報の一括管理をしてはどうか。

答 システムのデータ連携については、今後、すこやか生活課が担う母子保健と子育て応援室が担う児童福祉を一体的に推進することも家庭センターの設置を進める中で、国の動向を注視しながら、円滑な情報共有ができる効果的な方策を検討していきます。

問 「ホームビジター」制度を活用した伴走型支援の検討をしてはどうか。

答 要保護、要支援児童のいる家庭等に対し、食事・洗濯・掃除等の家事支援や保育所への送迎等の育児支援を行う「子育て世帯訪問支援事業」の制度化に向けて、専門的な知識と経験を有する事業者の選定等、検討を進めていきたいと考えています。

不登校の児童生徒への支援について

問 不登校特例校設置についての見解を伺う。

答 学びの場の一つとして、適切な支援のあり方を検討するため、県教育委員会は令和4年度より、近隣県に設置されている不登校特例校の視察を始めたところ



山崎 直規

ろです。本市としては、県が調査をはじめた不登校特例校の設置について、その動向を注視していきます。

認知症対策について

問 地域包括支援センターの体制強化と、認知症サポーターとの積極的な連携について見解を伺う。

答 圏域地域包括支援センターと認知症サポーターをはじめとする地域の支援者とのさらなる連携を図るとともに、きめ細かな支援体制を強化するため、各圏域地域包括支援センターに認知症地域支援推進員等の配置を検討していきます。

その他の質問

- 精神疾患の増加に伴う心のサポーターの養成について
- がん対策の新基本計画について

会派の状況(令和5年4月1日現在)

- 新政会(6人)
 - 会長 新野 富美夫
 - 副会長 筈井 昌彦
 - 幹事長 田中 尚仁
 - 政調会長 今江 恒夫
 - 会計 西村 弘樹
 - 監査 赤淵 義誉
- 令和同志会(4人)
 - 会長 高田 正司
 - 幹事長・会計 渡邊 邦男
 - 政調会長 森 貴尉
 - 会員 石田 清造
- 翔政会(3人)
 - 会長 小西 孝司
 - 幹事長 酒井 洋輔
 - 会計 藤木 猛
- 日本共産党議員団(2人)
 - 会長 小牧 一美
 - 会計 藤原 浩美
- ネットワーク未来(2人)
 - 会長・政調会長 國枝 敏孝
 - 副会長・会計 福井 寿美子
- 公明党(1人)
 - 会長 山崎 直規
- 無所属
 - 川本 航平

常任委員会の状況(令和5年3月2日現在)

- 総務常任委員会(9人)

委員長	西村 弘樹	委員	石田 清造
副委員長	川本 航平		渡邊 邦男
委員	藤木 猛		田中 尚仁
//	高田 正司		藤原 浩美
//	石田 清造		
//	赤淵 義誉		
//	今江 恒夫		
//	藤原 浩美		
//	酒井 洋輔		
- ◎ 環境生活都市経済常任委員会(10人)

委員長	國枝 敏孝
副委員長	酒井 洋輔
委員	高田 正司
	森 貴尉
	筈井 昌彦
	小牧 一美
	新野 富美夫
	渡邊 邦男
	田中 尚仁
	川本 航平
- 文教福祉常任委員会(9人)

委員長	山崎 直規
副委員長	福井 寿美子
委員	森 貴尉
//	小牧 一美
//	小西 孝司

問

「JR守山駅周辺のまちづくりのあり方」および「災害発生時における帰宅困難者への対応」について



問 今後の駅周辺の整備において平和堂建て替え事業をはじめ新都賀山荘の移転や相次ぐ金融機関等の移転に伴う空き店舗対策について、行政やMM21(まちづくり会社)とランドデザインを構築していく必要があるが見解を伺う。

答 行政とまちづくり会社が主導したJR守山駅周辺のランドデザインの構築は現在、行政主導の「西口ロータリーを中心とした渋滞対策」や「東口の在り方検討」がある中、「平和堂守山店建替事業」などの民間の事業が動き始めている状況であり、民間だけに任せるのではなく地元自治会、地元住民、各商店街、まちづくり会社、商工会議所、民間企業等と連携を図り取り組んでまいります。

問 今年1月下旬に発生した10年に一度の大寒波のような想定外の事態に備え、各店舗あるいは商店街という枠組みで災害協定の締結が必要と考えるが見解を伺う。

答 現在、相互応援協定も含め60団体と災害協定を締結しておりますが、帰宅困難者を想定しての協定はございません。よって緊急時の備えとしての店舗等との災害協定は、迅速な対応や平時からの防災についての意識付けにもつながり、重要であると考え、JR守山駅周辺の飲食店等から協力申し出のお話もある中、各店舗や商店街の方々と協定に向け取り組んでまいりたいと考えております。



新公会 **にしむら ひろき**
西村 弘樹

問

市政への市民参画と協働のまちづくりの現状と課題について



問 各事業推進にあたり、住民説明会やパブリックコメントの参加者や意見が少ないように思うが、市民参加と協働のまちづくりの現状と課題認識について伺う。

答 今後も積極的に市民参画の手法を活用し、ご意見をいただく機会を設けてまいります。併せて、市民懇談会等に参加された方には、ファシリテーター養成講座や各種事業へのご案内等も行い、まちづくりに関心を持ち、さらには参画や担い手となっていただくきっかけとなるよう努めております。



問 市民のDXにおいて、デジタルを活用した住民参加型合意形成プラットフォームを活用し企画立案のより速い段階から市民の皆様と双方向で施策を作っていく仕組みづくりの手法があるが、オンラインで多様な市民の意見を集め、議論を集約し、政策に結びつけていくための機能を有している参加型民主主義プロジェクトのためのオンラインツールの活用について見解を伺う。

答 これまでの手法に加え、デジタルをうまく活用し、誰もがオープンに参加できる環境を整え、みんなで議論しながら一緒にまちづくりに参画することで、シビックプライドの醸成にもつながるものと思われ、今後研究を深めてまいります。



新公会 **いまえ つねお**
今江 恒夫



带状疱疹ワクチン接種の助成について

問 昨年の夏は例年になく大変暑く、市内で高齢者の方々に带状疱疹ウイルスに感染された患者が多かったようである。带状疱疹の発症は50才代より上昇し、70才代でピークを迎える。平均発症率は年間千人に4.69人と報告され、80才までに3人に1人が発症するものと推定されている。带状疱疹には予防薬は無く、予防にはワクチン(生ワクチン・不活化ワクチン)が効果的であるといわれている。県内では近江八幡市が助成されるようで、さらに、守山野洲医師会からも接種費用助成の要望があったと聞きおよんでいる。是非、6月補正でワクチン接種の助成をお願いしたいと考えるが、市長の見解を伺う。

答 带状疱疹ワクチンについては、現在、国において最適な接種年齢や効果の持続性等、定期接種化に向けた議論がなされているところです。しかしながら、今般、守山野洲医師会より、その有効性を踏まえたうえで接種費用助成について強い要望があり、市民の皆様のQOL(生活の質)の維持向上も見込まれることから、市民のニーズや費用対効果などの様々な要素も勘案しながら、定期接種化されるまでの間の費用助成について前向きに検討していきます。なお、県内では近江八幡市が令和5年度より、ワクチン接種の一部助成を開始される方向で現在、議会で予算案が審議中ときいています。



令和同志会 たかだ まさし
高田 正司



市民活動および不登校児童対策に係る施策について

ターゲットを絞って市民活動の「入口づくり」を行う施策について

問 市が行っている「市民懇談会」は、全国でも珍しい取り組みで参加者の満足度も高く、継続参加を希望する人も毎回多数おられる。こうした中、市民活動などへの新規参加者を発掘・養成するために、市民懇談会の過去参加者を対象にした事業を実施できないか、市長に伺う。

答 新たな担い手の入り口となる気軽に参加しやすい仕組みづくりや継続進展した関わり方は重要な視点であると考えており、令和5年度に実施する「中間支援組織のあり方研究会」において、市民団体等の支援とともに検討していきます。

不登校児童・生徒の「はじめの一步」を後押しする施策について

問 不登校を予防する取り組みは充実してきているが、いま現に不登校になっている子どもへの支援が不十分ではないか。学びのサポートや、市として支援する姿勢を示すためのガイドブック、適応指導教室等への通所交通費の支援が必要と考えるが、教育長の見解を伺う。

答 令和5年度から、学校以外(図書館やエコパークなど)での学びを支援する職員を教育委員会に1人配置します。

ガイドブックは、全庁横断的な検討が必要なため時間を要します。地域間格差についても、今後検討していきます。



無所属 かわもと こうへい
川本 航平



問

自転車を中心とした施策および
住宅リフォーム制度の取組みについて



自転車を中心とした施策について

問「自転車を中心とした観光振興」を目指し、約10年で実施してきた自転車施策の検証と民間企業への広がり、今後の展望について市長に伺う。

答全国的にも自転車の町として認知され、民間の投資も顕著化しており、今後は観光振興に加え、琵琶湖湖岸の魅力ある持続可能な観光誘客と地域活性化につながるよう各所との連携を強化してまいります。

今後の住宅リフォーム制度の取組みについて

問今後の資材物価高、人件費高を考えると現制度の取組みを活かそうとすれば助成額や工事内容などの検討が必要となるが、住宅・店舗・施設改修助成制度の検証と評価、令和5年度の住宅リフォーム等の制度の導入について市長に伺う。

答約3年間継続して市独自支援を行ってきたことで、市内経済の活性化に一定の効果がありましたが、

現制度は一定の役割を終え、今後は、脱炭素化の促進やGXに配慮した市内事業者の固定費削減への取り組み支援について検討してまいります。

問申請の手続きは相談から完了まで時間を要する。福祉の視点から考えると申請要件や助成対象工事など把握している工事業者の方が申請する代理受領制度の導入について、見解を伺う。

答申請者、事業者の両方から負担軽減が図れるよう提出書類の簡略化等を検討してきました。今後は、誰にも優しい視点を考慮し、デジタル化、専門機関への委託化、代理受領制度については、総合的に調査研究してまいります。



令和同志会 もり 森 たかやす 貴尉

問

施政方針について森中市長に問う！



「日本のモデルとなるまち」とは？

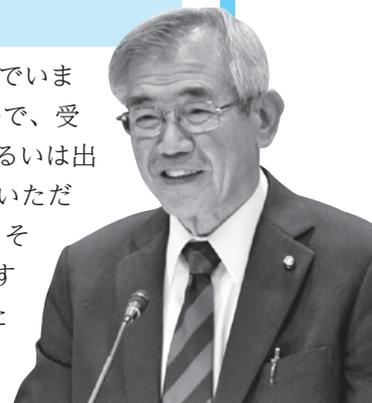
問森中新市長は選挙期間中も、また所信表明の中でも守山を日本のモデルとなるようなまちにしたいと述べられているが、これは抽象的で、どういうまちを想定しているのかよく分からない。夢のような話でもいいので、少し具体的な例をあげて説明していただきたい。

答「日本のモデル」と考えているのは、行政だけでなく、市民、地域、各種団体、事業者等いろいろな主体がしっかりつながり、一体となって、まちをよくしていこう、住みやすいまちをつくっていこうと行動している姿がそこかしこにあるという状態を思い描いています。そうした状態をつくるために私自身先頭にたって行動していきたいと考えています。

「市民が主役の守山」について

問重点施策の中の「市民が主役の守山」についてであるが、市民が主役というのは行政サービスの第一の受け手という意味で主役なのか、あるいは先の答弁にもあるように市民も何らかの公共的なサービスの出し手になるという意味を含めての主役なのかを伺いたい。

答主役というのは両方の意味を含んでいます。つまりは、市民の皆さまが第一で、受け手として満足していただける、あるいは出し手の役割を担うことでも満足していただける、この両方だと考えています。そのバランスを考えながら行政としてすべきことをしっかり実行していきたいと考えています。



ネットワーク未来 くにえだ 國枝 としたか 敏孝



問

新型コロナの感染症区分5類への見直しについて

問 新型コロナは感染拡大する度に医療が逼迫し死亡者が増える状況で、新型コロナのインフルエンザ同等の5類移行は問題だ。感染症として感染動向を掴むため定点サーベイランス実施、特に高齢者施設への継続的な感染対策の環境整備、介護施設職員の負担軽減・処遇改善への支援をすべき。

答 県は定点サーベイランス調査を5月以降に検討しておられます。国の5類移行の方針に合わせた県の感染対策に準じ、高齢者施設や市民への適切な対応をしていきます。

問 物価高騰による生活への影響は深刻である。年金生活者も年金の引き下げ、各種保険料等の負担増で生活は苦しくなるばかりである。特定の対象者に限られた支援でなく、幅広い人に暮らしの支援策をすべき。

答 国の住民税非課税世帯等の世帯への物価高騰支援に対し、市独自に上乘せ支給を実施しました。国は追加支援策も検討中です。関係課や社協等と連携し、暮らしの支援を引き続き行っていきます。

問 人口が増えているが、待機児童・兄弟姉妹の別園通園・育休中の退所など保育の課題は多い。安心して産み育てる環境整備と保育士の働きやすい環境整備には、余裕ある保育枠の確保と就学前教育の充実が必要である。それには保育園をもう一園増やし、幼稚園給食を実施すべき。

答 待機児童の主な要因は施設不足ではなく保育士不足です。将来的には定員割れの恐れもあり、新しい保育所整備は考えていません。待機児童がいる状況で兄弟姉妹の別園通園を決定せざるを得ない場合があります。



日本共産党議員団 藤原 浩美



問

地域交通の充実策について

もーりーカーの課題について

問 利用件数が1日平均40件を超えるとのことだが、台数が足りなくて利用者が時間待ちをすることはないのか。

答 交通事業者2社において、予約に合わせて1時間に各社1~2台運行していただいております。車両不足により乗車できないといった問題は聞いておりません。

問 もーりーカーの話をするとうよく出てくるのが、「お医者さんへ行けるようになってくれるといいねんけどなあ。」という声。目的地に地域の診療所を加えてはどうか。

答 もーりーカーの目的地に地域の診療所を追加する、市内在住

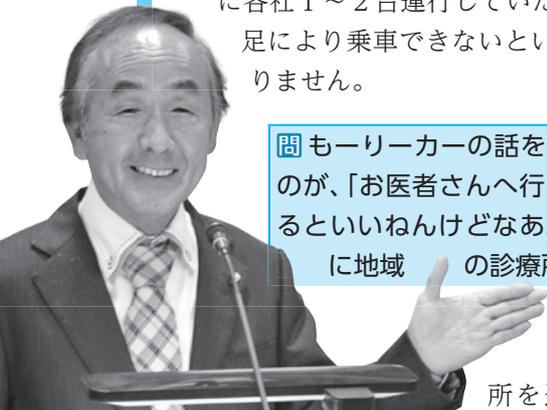
者であればどなたでもご利用いただける目的地に守山駅を追加する等、今後の制度改正につきましては、地域公共交通計画策定の取り組みのなかで検討してまいります。

問 専門の事業者のオペレーターだと、利用者への対応も適切で、配車計画なども効率的に行われる。将来を見据えて、新しいシステムの利用を考えていくとよいのではないかと。

答 更なる利用者の増加等の状況を注視し、より利便性が高く効率的な運行を目指すなかで、引き続き実施事業者とともにシステム導入等について検討してまいります。

《その他の質問》

- 路線バスの課題について
 - ・ 路線の再編・撤退について
 - ・ 利用者の利便性向上について
 - ・ 利用者の負担軽減について



無所属 石田 清造

問 部局横断の連携について



問 市長の政策の中で「健康」の分野でワンストップ相談支援の整備を掲げられ、私も部局横断の連携は市民サービスの向上に必要不可欠だと考える。何か相談したいと思っても「どこに行けばよいのか、わからない」という声や案内された窓口で「うちの担当ではないので…」とたらい回しにされたとの声もある。そうした中、各分野の市民サービスの向上にワンストップの相談体制をDXやAIの活用など部局横断の連携で取り組むべきと考えるが、市長に見解を伺う。

答 ご指摘の行政の縦割りの弊害については施政方針で申し上げたとおり、その打破が長年うたわれ、例えば重層的支援体制整備事業や圏域の地域包括支援センターの開設により相談体制を充実したところですが、市民の方から「市役所内の縦割りをなんとかしてくれ」というお声をよくお聞きします。その解決に向けて私が大切にしている糸賀一雄先生の「自覚者が責任者」という言葉を私も含め職員に常日頃から

意識してもらい「おせっかい」と「お互い様」の心で市役所内の縦割りを排除していきたいと考えています。部局横断の連携については、例えば職員間で気軽にかつ簡単に交流ができるツールやICTを積極的に活用し、市役所内の連携を密に更なる市民サービスの向上に努めてまいります。

《その他の質問》

- ・公民連携ワンストップ対話窓口の開設について



ネットワーク未来 **ふくい すみこ**
福井 寿美子

問 「誰もが」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しめる環境整備を！



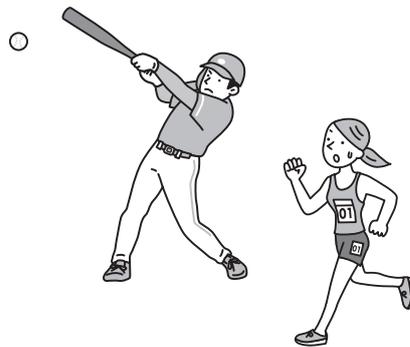
問 本市におけるスポーツを取り巻く状況は、練習場所の不足や公共施設の取り合いなど多くの課題がある。民間企業保有の施設を有効的に活用できれば解決できるのではないかと。

答 市内には運動施設を有する企業があります。また、今後、整備される予定もありますことから、これらの企業と活用に向けた具体的な内容を詰めて協議を進めてまいります。

問 部活動の地域移行を控え、国からはガイドラインが示された。総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、中高等学校、企業が結びつくことで、今までは学校内の部活動でしかなかったものを、地域を含む一体的な取り組みとして展開できるのではないかと考えるが見解を伺う。

答 部活動の教育的意義は大きいです。ガイドラインにある「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる」という理念のもと、今後の地域移行に向け、地域・

企業等と連携を図り、様々な世代との交流や多様な活動を実現し、学校内の活動では得られなかった貴重な体験を通して、部活動に新たな価値を見出すことができると考えています。関係団体や関係者による協議会を立ち上げ、地域による一体的な取り組みを進めてまいります。



さかい ようすけ
翔政会 **酒井 洋輔**

審

議

結

会派…①新国会 ②翔政会 ③令和同志会 ④日本共産党議員団 ⑤ネットワーク未来 ⑥公明党 ⑦無所属議員
 ○…賛成 ×…反対 — …議長は採決に加わっていません。

議案番号	件名	会派 議決結果	①			②		③		④		⑤	⑥	⑦					
			新野 富美夫	菅井 昌彦	田中 尚仁	今江 恒夫	西村 弘樹	赤淵 義誉	小西 孝司	酒井 洋輔	藤木 貴剛	森 邦男	渡邊 正司	高田 一美	藤原 浩美	國枝 敏孝	福井 寿美子	山崎 直規	川本 航平
議第2号	令和5年度守山市一般会計予算	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議第3号	令和5年度守山市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議第4号	令和5年度守山市水道事業会計予算	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第5号	令和5年度守山市土地取得特別会計予算	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第6号	令和5年度守山市下水道事業会計予算	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第7号	令和5年度守山市病院事業会計予算	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第8号	令和5年度守山市育英奨学事業特別会計予算	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第9号	令和5年度守山市介護保険特別会計予算	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議第10号	令和5年度守山市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議第11号	令和4年度守山市一般会計補正予算(第14号)	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第12号	令和4年度守山市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第13号	令和4年度守山市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第14号	令和4年度守山市土地取得特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第15号	令和4年度守山市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第16号	令和4年度守山市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第17号	令和4年度守山市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第18号	守山市個人情報の保護に関する法律施行条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議第19号	守山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第20号	守山市まちなか賑わいづくり基金条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第21号	※守山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議第22号	守山市使用料および手数料条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第23号	守山市立図書館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第24号	守山市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第25号	守山市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第26号	守山市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第27号	守山市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第28号	守山市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第29号	守山市特定旅館建築規制条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第30号	守山市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第31号	令和5年度守山市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第32号	※守山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

果 一 覧

議案番号	件 名	議決結果	会派																		
			新野富美夫	菅井昌彦	田中尚仁	今江恒夫	西村弘樹	赤淵義誉	小西孝司	酒井洋輔	藤木猛	森貴尉	渡邊邦男	高田正司	小牧一美	藤原浩美	國枝敏孝	福井寿美子	山崎直規	川本航平	石田清造
議第33号	守山市介護保険条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第34号	契約の締結につき議決を求めることについて	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第35号	契約の締結につき議決を求めることについて	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第36号	守山市副市長の選任につき同意を求めることについて	原案同意	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案異議なし	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	小・中学校の給食費無償化を求める請願	原案不採択	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	
請願第2号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助制度の創設を求める請願	原案不採択	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	
会議第1号	守山市議会の個人情報の保護に関する条例案	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第1号	米軍普天間飛行場所属機からの部品落下事故ならびに有機フッ素化合物PFOS等を含む水質および土壌汚染防止を求める意見書	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第2号	精神障害者を福祉医療費助成制度(マル福)の対象とすることを求める意見書	原案可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第3号	岸田政権が進める大軍拡・増税に反対する意見書	原案否決	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	
意見書第4号	マイナンバーカードの普及状況を地方交付税等に反映させないことを求める意見書	原案否決	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	

※議第21号と議第32号は同件名「守山市国民健康保険条例の一部を改正する条例案」になります。各条例案の概要は次のとおりです。
 議第21号…滋賀県から示された本市の標準保険料率を踏まえ、県内の保険料統一まで安定的な国保運営を行うための国民健康保険料率の改正。
 議第32号…新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が下がった方等に係る令和元年度分から令和4年度分までの国民健康保険税の減免措置について、令和5年度以降に賦課するものも対象とするための必要な改正。

議会活動報告(1月～3月)

1月6日	市議会だより編集委員会	3月13日	本会議
1月23日	議会運営委員会	3月14日	本会議
1月30日	第1回臨時会議	3月15日	本会議
	総務常任委員会(休憩中)		全員協議会
	文教福祉常任委員会(休憩中)	3月16日	総務常任委員会・協議会
	環境生活都市経済常任委員会(休憩中)	3月20日	文教福祉常任委員会
	環境生活都市経済常任委員会協議会(本会議終了後)	3月22日	文教福祉常任委員会・協議会
2月24日	議会運営委員会	3月23日	環境生活都市経済常任委員会
2月27日	公共施設調査特別委員会	3月24日	環境生活都市経済常任委員会・協議会
2月28日	子育て支援対策特別委員会		市議会だより編集委員会
3月1日	議会改革・広報広聴特別委員会	3月28日	議会運営委員会
3月2日	議会運営委員会		本会議(最終日)
	本会議(初日)		全員協議会
	市議会だより編集委員会		

次回定例会会議等の開催予定

6月2日(金)	議会運営委員会	6月22日(木)	本会議
5日(月)	公共施設調査特別委員会	23日(金)	総務常任委員会
6日(火)	子育て支援対策特別委員会	26日(月)	文教福祉常任委員会
7日(水)	議会改革・広報広聴特別委員会	27日(火)	環境生活都市経済常任委員会
9日(木)	本会議(初日)	29日(木)	本会議(最終日)
21日(水)	本会議		



まちのトピックス

第54回 守山市サッカーカーニバル開催！



3月12日、野洲川歴史公園サッカー場ビックレイクで、市内小中高生約300人が集う、守山市サッカーカーニバルが開催され、チーム対抗試合やリフティング大会などのイベントが行われました。



また、屋内では、守山少年サッカーを創設された故掘出亀興嗣さんをしのぶ思い出のユニフォームや写真などが展示されました。

市議会の傍聴のご案内とインターネット中継

日程は変更になる場合もあります。時間は9時30分からです。お問い合わせは議会事務局へ。TEL 077-582-1151

インターネットアクセス数

(1月1日～3月31日)

1,937件

守山市議会中継

検索

⇒ 守山市議会YouTube中継ページへ

アプリで見よう!!

もりやま市議会だよりがアプリで閲覧できます

App Store

Google play

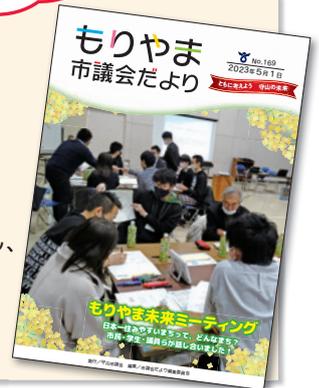


マチイロ登録者
2,000人突破!!!

◀「マチイロ」
アプリをインストール



◀「Sidebooks」
アプリをインストールし、
「ちいき本棚」を選択



※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。
※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に守山市議会は責任を負いません。

編集後記

まちを歩くと、マスクを外した子どもたちの笑顔を見る機会が増えました。誰もが安心して笑える守山であってほしいと思います。

編集委員会の任期も残り5か月ほどになり、10月の改選に向けて、市議会だよりの改善点なども話し合っています。みなさんは、どんな市議会だよりなら「読んでみたい」と思われますか？ご意見等があれば、お近くの議員や議会事務局に、お伝えください。

(市議会だより編集委員)



- 用紙：責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC®認証用紙
- インキ：環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷

